

●国際ロータリーテーマ



SABAE ROTARY CLUB

●クラブ活動方針

2015.7-2016.6

塩梅よく

会長 小部 隆充
幹事 大橋 良史

●6月 第2例会

●R I 第2650地区スローガン 『クラブに「個性」と「憧れ」を!』

●第2758回 平成28年6月10日(金)

点 鐘 12:30~
四つのテスト
ロータリーソング斉唱
会長の時間
新会員入会式
幹事報告等

卓話 鯖江市子ども会育成 竹内 香代子 様
連絡協議会 会長

テーマ 「子どもとの関わりについて」

▼第2757回例会報告 平成28年6月3日(金) ▼鯖江商工会館 3階中ホール 出席率 71.4%

四つのテスト
言行はこれに
照らしてから
一真実かどうか
一みんなに公平か
一好意と友情を深めるか
一みんなのためになるかどうか

それこそロータリー

佐野 直美 ソングリーダー



ガバナー補佐挨拶と幹事報告



木村昌弘 R I 2650地区ガバナー補佐が「次年度ガバナー補佐として、公式訪問について相談に伺った。今回から公式訪問を合同で実施する事を進めてきたが、お陰様で県内19中18クラブで合同開催の運びとなった。同訪問を簡素化する意味だけでなく、RCが変わりつつある事を感じてほしい。7月22日にクラブ協議会、8月5日に鯖江北RCとの合同公式訪問。私も新しい補佐として任期が3年。色々な課題を抱えつつクラブがあり、クラブとRIの環境が地球規模で変わりつつあることをひしひしと感じるが、皆さんと一緒に勉強しながらやっていきたい。よろしくお願ひしたい。



- ①先週の例会、吉田会員に工場見学等、大変お世話になりお礼申し上げます。
- ②本例会終了後、本年度最後の理事会を開催する。出席願ひたい。
- ③鯖江RAC最終例会の案内。6月18日(土)19時30分～、びーぷ留にて、会費6,000円。平澤暁子さんが卒業する。ご縁のある方等を中心に、積極的に出席願ひたい。
- ④熊本地震の募金。まだ・お忘れの方、お願ひしたい。

大橋 良史 幹事

お客様の紹介と会長の時間



本日のお客様、三国RC所属、2016-17年度R I 2650地区、ガバナー補佐、木村昌弘様(写真下左)。鯖江北RC所属、峯田信匡様(同右)。よろしくお願ひしたい。

熊本地震後、同県内災害拠点病院の国立病院熊本医療センターで、肺炎による



小部 隆充 会長
入院患者数が前年同期比で倍増。地震による関連死疑い20人中、同県外に転院後に死亡した男性(87)は誤嚥(ゴエ)性肺炎だったと確認された。避難生活が長期化。歯磨き等の口の中のケアが不十分になると、特に高齢者は口の中の細菌が気管に入って引き起こす同肺炎の危険性が高まるとされ、注意を呼び掛けている。また、長期的に見て注意が必要なのは「糖尿病」だそうである。以上、紹介申し上げます。

ニコニコBOX報告

(敬称略・順不同)

- | | | |
|---------|---------|----------|
| 1 小部 隆充 | 5 小淵 洋治 | 7 吉田 俊博 |
| 2 大橋 良史 | 6 帰山 明朗 | 8 窪田 健一 |
| 3 木村 昌弘 | 7 下村 義孝 | 9 橋本 政宣 |
| 4 堀江 邦旺 | 7 佐野 直美 | 10 岡本 圭子 |

- 1: 木村G補佐をお迎えして
- 2: 1、7、誕生日を頂いて
- 3: 次年度G補佐を拝命して
- 4: 1、卓話機会を頂いて
- 5: 結婚祝いを頂いて
- 6: 1、5、7
- 7: 堀江会員の卓話を楽しみに
- 8: 7、できるだけ、来週、米山寄付お願ひします
- 9: 先週の吉田会員の職場見学に感謝し、世界最新の先端技術に驚き、鯖江での技術、嬉しくなりました
- 10: 7、先週の吉田会員の工場見学に感謝します。とても楽しかったです



結婚祝 誕生祝 ポール・ハリス・フェロー バッチ受領



洋⑥帰山明朗・小淵



大橋良史幹事



窪田健一会員

卓話 (株)クララ調剤薬局 代表取締役社長 堀江 邦旺 会員

テーマ「ロータリー 42年を振り返って」



卓話は、専門職のセンスを吸収できる事が、一番いい。それを自分の事業にどう反映するか。

■ロータリーの行進と2大背骨

1905年にポール・ハリスがロータリー創設。石炭商シルベスター・シール、鉱山技師ガスターバス・ローア、洋裁師ハイラム・ショーレーの4名で、シカゴのローアの事務所で、第1回目の会合を開催。これが初の例会。

05年に起こって08年のこの3年間、その後数年、基本的方針を決める場で、会員同士が喧々諤々激しく議論した。

その時に印刷業者ハリ・ラググスが提唱し、ソングが始まった。リーダーは真ん中に立ち、歌は皆の心を1つにし、心を和ますいい効果が出た。ラググスは翌年入会だが、彼を加え5人で創設した、といわれるくらい貢献した。

10-11年、この時に一番、職業奉仕という言葉が出てくる。“One profits most who serves best”「最も良く奉仕する者、最も多く報いられる」。“Service Above Self”「超私の奉仕」。これはロータリーの2大背骨。

アーサー・フレデリック・シェルドンは、ミシガン大学で経営学を学び、職業とはどういう事か、実践。今は、職業奉仕をボケーショナルサービスと言っている。天職という意味が強い。ただ、シェルドンは違った。米国の05年頃は混沌とし、リンゴを箱で注文すると、中に石ころが入って送って来る時代。相互扶助、会員同士の取引が盛んで、それが、安心して仕事ができる方法の時代だった。

また、職業をどこまで信用あるものに高められるか取組み、セールスはこの時に初めて職業として認められた。職業の倫理観を高めた人であった。この職業奉仕は、吉田会員の職場訪問の際も、利益ありきでなく、まず相手の事を思い商売する。良ければ多く報いられる、と語られた。

シェルドンの商売・経営方法も、まずリピート、固定客を増やす。これによって利益を出す。商品を適正価格で、ユーザのために役立つものを作り上げて、喜んでもらって利益を上げる。まず相手に尽くし、それから自分に返ってくるというのが、この理念の根本。人間である限り、どんなに時代が変わろうと、どんな状況になろうと変わらない。

■RCに42年在籍する私の根っこと職業奉仕

私は生業(食べるための職業)として、呉服業に従事。RCでは、企業人の物の見方や考え方を学びたかった。31才で入会した時、揚原新十郎・吉田三郎・白崎元就さん等、実績ある企業人が多く在籍。武生RCから移籍して当RCを起こした、キーマン9名が健在だった。そういう中で薫陶を受けた。企業家1人1人の良い・心感じる所が、蓄積され身に着いた。これがRCに42年いる私の根っこ。

RCに入って誰かから何となく教わり・知らされるのではない。自ら何かを求めないと、何もつかめず色々な人から話も聞けない。私が調剤薬局を14年前に起業した時、糧になった。現在、零細企業だが生業ではなくなった。



入会時、白崎元就さんが15代会長。私の事を人間力を含め誰も知らず、ある

結婚式で見定められて入会を許可された。岡本隆さんが推薦人、増強担当が揚原・二条さん。何かを学ばねば、という思いだった。

RCの基本は、時代が変わっても職業奉仕。シェルドンは、4大奉仕、5大奉仕に変わっていった時に退会した。想いは、職業奉仕にあった。シェルドンの評価については、ピーター・ドラッカー、ジョン・ケインズ等の20年前に経済・経営理論を発表している。

前述の2人は、ルーズベルトのニューディール政策のバックボーン。シェルドンは名も売れず1学校の経営者だったが、世界に通じる理論を作った。ポール・ハリスも買っていた。一緒に仕事をし、手を携えてRCを作ってきた。

日本は20年、大正9年、東京に世界で855番目に東京RC、それから大阪、神戸、名古屋、横浜と広がった。そんな中、社会奉仕の方針で最も有名なのは、決議34の精神。規定審議会で審議、また復活、という形で今なお生きている。ひも解いて勉強すると、RCとは何か理解できる。

■時代の変遷と当クラブのこれから

今、時代は急激に変わり、新産業の創成期。スマート農業、情報通信技術とロボット技術の融合されたもの。フィンテック、金融と情報通信産業が融合した企業。それ等が人工知能、AIによって進歩している。人工知能は素晴らしく、2030年には49%仕事をする、と言われている。



囲碁でも韓国プロ棋士に勝っている。単に知識を詰めて動かすのではなく、もう一つ進歩し深層学習、積み上げた物がどういう形で動いていくか。これはどうですか、と問うとこうですよ、と答えが返ってくるロボットができる。ロボットの社長もでき、量が多い情報でも入ったら忘れない。

下から情報が上がった場合、AかBか、白か黒かの確にいいか悪いかで判断する。そういう社会が生まれてくる新産業の創成期。既にユニコーン企業が出現してる。伝統を守るのはいいが、変わる事に抵抗が強いとイノベーションできない。集中と選択、多様化は避けられない。

日本のRC会員、全体的に減っているが世界では増えている。RIは3年ごとの規定審議会で、我々が感じられない動きをする。クラブの対応にも柔軟性が必要。基準判断が間違るとクラブ運営に間違いがでてくる。今後の会長、幹事、理事者はそういう観点でRCを運営する事が肝要。

職業はボケーションではなく、仕事・オキュペーション。仕事の倫理をいかに高めるか、追及するのがロータリアンの仕事。職業を通じて地域社会にサービス。突き詰め・深め・高めていくかは、職業を通じての奉仕。RCの基本。

初代福島文右衛門会長、入会金2万円・会費2万円。18代吉田三郎同3・10。26代青木奥雄同5・15。32代峰田亮介同5・20。38代私から5・24万円と今に続いている。

姉妹提携は、77年に佐々木勝順会長が中華民国・楊梅RC、91年に峰田亮介会長が村上RCと締結。姉妹提携もこれから、もう少し活発に行われるといい。

私は、12-13年ガバナー補佐等の地区役員として、地区とRI、当RCの動きと3者のバランスを見てきた。当RCはいい意味で保守的。古い規則を守りながらきている。クラブ協議会もきちんとやり、大変いいRCである。職業に関して、倫理を持ってお役に立っていければ、益々発展していく。加えて、会員増強が図られれば言う事ない。